

Information

医療・病院管理研究協会研修

●看護管理 看護管理者研修

(Web 開催)

日時▶10月28日(金)9:45~16:15

テーマ▶病院のマネジメントを考えるために

プログラム▶「病院財務諸表のしくみと見方—会議に出てくる経営資料を理解するために」山田康夫(医療・病院管理研究協会)／「病棟部門の患者安全と施設管理」算淳夫(工学院大学)／「ハラスメントのない組織づくり」三木明子(関西医科大学)

●看護管理 看護の業務改善

(Web 開催)

日時▶11月11日(金)10:00~16:15

テーマ▶看護力の最適化のために

プログラム▶「セル看護提供方式の定着に向けた取り組み」倉智恵美子(飯塚病院)／「看護記録の効率化・良質化をめざした取り組み—PCAPS(患者状態適応型パス)を活用して」佐々木誠子(東京臨海病院), 磯雅子(東京臨海病院)／「改善活動推進による働き続けられる職場づくり—データを活用した看護業務効率化の取り組み」堀百合子(広島シーサイド病院)

●医療機関におけるリスク管理

(Web 開催)

日時▶11月25日(金)10:00~16:15

テーマ▶職員の安心安全を維持するために

プログラム▶「医療安全における医薬品マネジメント」川名賢一郎(聖路加国際大学, 聖路加国際病院)／「医療現場でのハラスメント—患者・家族の理解と対応」玉上淳子(東京慈恵会医科大学附属病院)／「医療機関における法的リスクの管理方法」桑原博道(仁邦法律事務所, 弁護士)

【以下共通】

会費▶会員1万円, 非会員1万3000円

申込方法▶下記Webサイトの参加申込フォームから

<http://byoken.com/service.html>

問い合わせ先▶医療・病院管理研究協会
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-29-8
公衛ビル

☎FAX 03-3352-2575

✉ kenshu@byoken.com

<http://byoken.com>

第53回(2022年度)日本看護学会学術集会(現地+Web開催)

日程▶[現地] 11月8日(火)~9日(水),
[オンデマンド配信] 11月25日(金)~12月25日(日)

会場▶幕張メッセ(千葉市)

テーマ▶変化する社会で求められる看護の役割—地域における健康・療養支援の強化
プログラム▶基調講演「変化する社会で求められる看護の役割—地域における健康・療養支援の強化」福井トシ子(日本看護協会)／特別講演②「ICTを活用した看護職の新たな活動モデル—地域を基盤とした重症化予防, 高度実践看護」森山美知子(広島大学)／③「DX(デジタルトランスフォーメーション)によって, 看護の仕事はどう変わるのか」小林史明(デジタル副大臣兼内閣府副大臣)／教育講演「看護におけるEBPM/EIPMの推進に向けて」林田賢史(産業医科大学病院)／シンポジウム①「医療機関から飛び出そう! 女性の健康支援には看護職の力が必要だ!」関正節(高知医療センター), 宮下美代子(みやした助産院), 小嶋由美(ことり助産院)／②「看護補助者を確保するためのヒント—自施設ですぐできることを見つけよう」鈴木恵巨(日本看護協会), 後藤友美(厚生労働省), 小野恵美子(大阪府看護協会)／③「看護職の力で行う人々の健康・療養支援」川添高志(ケアプロ株式会社), 小柳弘恵(やんばる希望が丘助産院), 樋口千恵子(たんがく)／④「地域包括ケア推進に資する外来看護職の活動」岩澤由子(日本看護協会), 古田明美(岐阜県総合医療センター), 青木美佐子(入澤泌尿器科内科クリニック)／⑤「地域における戦略的看護職確保」草野哲也(厚生労働省), 森内みね子(日本看護協会), 若月裕子(山形県看護協会)／交流集会①「看護職のバーンアウトや離職を防ぐメンタルヘルスケア—個人への効果的なセルフケアサポートと組織によるラインケアを考える」萱間真美(国立看護大学校), 高橋晶(筑波大学, 茨城県立こころの

医療センター, 筑波メディカルセンター病院)／②「すべての母子が安心して子育てできるまちづくりを目指そう!!」秦美恵子(島根県看護協会), 太山由佳(香川県小豆総合事務所)／③「看護専門職としての倫理観の醸成に向けて—『看護職の倫理綱領』を活用した教育支援」久保祐子(日本看護協会), 吉岡幸(神奈川県立平塚看護大学校), 千葉美恵子(市立札幌病院)／④「国際保健・国際看護領域における看護職のキャリア構築の現状と課題」芝田おぐさ(WHO西太平洋地域事務局), 大田えりか(聖路加国際大学), 小野崎耕平(聖路加国際大学)／⑤「中小規模病院における施設内教育の充実に向けた取り組み」渡邊ひろみ(寒河江市立病院), 浅田孝章(済生会小樽病院)／⑥「特定認定看護師の実際の活動—特定行為研修修了後の活動の変化や成果」井田奈央(訪問看護ステーションワークスタッフ鶴の木), 山崎優介(広島市立北部医療センター安佐市民病院)／⑦「看護の質改善に向けたデータの読み解きを体験しよう—DiNQLの新機能を使って質改善へ」高橋有紀(日本看護協会), 中麻里子(大阪公立大学医学部附属病院), 倉持玲子(佐々総合病院)／⑧「心身の負担の少ないシフト—頻繁な昼夜遷移が生じない夜勤・交代制勤務について」奥村元子(日本看護協会), 奥裕美(聖路加国際大学)／⑨「看護業務効率化先進事例アワード受賞施設に学ぶ業務効率化(多職種連携)—自施設ですぐできることを見つけよう」新井朋子(東京都立小児総合医療センター), 五藤陽子(北里大学病院), 山中由貴子(公立羽咋病院)／セミナー①「看護職員の賃金について考えてみよう—私たちの賃金はどのように決まっているのか」福井トシ子(日本看護協会)／②「医療・看護に係る国際動向」手島恵(千葉大学), 安西恵梨子(WHO西太平洋地域事務局)／③「明日からできる実践での研究活動!」山勢博彰(山口大学), 今泉千代(日本看護協会)／④「令和4年度診療報酬改定のポイント」吉川久美子(日本看護協会)／都道府県看護協会公募企画④「大阪府: 経験と勘に基づくケアから科学的エビデンスに基づくケアへ変換!!」小川真里子(よどきり医療と介護のまちづくり株式会社), 坂田薫(京都民医連中央病

院), 松本勝 (石川県立看護大学) / ⑤「大阪府: 地域完結型大阪モデル—大阪府看護協会感染管理地域ネットワークの構築」高橋陽一 (府中病院), 森野幸代 (市立岸和田市民病院), 柴谷涼子 (大阪府看護協会) / 一般公募企画②「看護関連に関する施設基準管理—看護職が施設基準を学ぶ意義」石井亜希 (東京歯科大学市川総合病院) / ③「安心・安全な看護ケアを考え, 実践すると患者の暴力は減少する!」北野進 (東京都立松沢病院) / ④「成人・小児混合病棟での子どもの入院環境を考えよう!」及川郁子 (東京家政大学) / ⑦「中規模病院がつくる『地域とともに学ぶ・つながる』: 公的機関が支援するネットワーク研修」國江慶子 (東京女子医科大学) / ランチョンセミナー①「医療情報システム『コマンドセンター』導入後の成果 (仮)」調整中 / ②「新しい時代を迎えた慢性便秘症診断と治療」中島淳 (横浜市立大学) / ③「小さなきっかけで看護職の残業削減をそとと後押し! (仮)」小村由香 (日本看護協会), 小池智子 (慶應義塾大学) / ④「『ただの頭痛』ですませていませんか?—頭痛が引き起こす仕事や日常生活への影響を知ろう (仮)」調整中 / ⑤「ICT を活用した業務の効率化」調整中 / ⑥「交替制勤務者のための『上手な眠り方のヒント』」國井修 (日本快眠生活研究所) / ほか

参加費▶ 会員 1 万 4850 円, 非会員 1 万 9800 円, 学生 5500 円

問い合わせ先▶ 運営事務局

〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1 幕張メッセ 事業企画課内

☎ 043-296-0623 (平日 9:00~17:30)

☎ 043-296-0529

✉ 2022makuhari@jnagakkai.jp

<https://2022makuhari.jnagakkai.jp/index.html>

第 42 回日本看護科学学会 学術集会 (現地 + Web 開催)

日程▶ 12 月 3 日 (土) ~ 4 日 (日)

会場▶ 広島国際会議場, 広島市文化交流会館, JMS アステールプラザ (すべて広島市)

テーマ▶ ケアサイエンスの構築に向けて—看護科学の深化と発展

プログラム▶ 会長講演「研究開発された看護ケアを世界に届ける: 国際共同研究」森山美知子 (広島大学) / 特別講演「スリーゼロ社会を目指して」ムハマド・ユヌス (ノーベル平和賞受賞者) / 基調講演①「ケアサイエンスの構築に向けて (仮)」西村ユミ (東京都立大学) / ②「ケアのイノベーション」須釜淳子 (藤田医科大学) / ③「医療 DX の現在地と展望」矢作尚久 (慶應義塾大学) / パネルディスカッション①「ケアサイエンスをどのように構築していくのか (仮)」標葉隆馬 (大阪大学社会技術共創研究センター), 山川みやえ (大阪大学), 山田あすか (東京電機大学) / ②「ケアのイノベーション (仮)」桑名健太 (東京電機大学), 雨宮歩 (千葉大学), 野里同 (岩手医科大学) / ③「ビッグデータと AI を活用した新たなケア提供システムの構築」福井小紀子 (東京医科歯科大学), 加澤佳奈 (広島大学), 小林美亜 (山梨大学) / ④「看護学教育のグローバルスタンダードに向けて—コロナ禍を通して見えた, 看護学教育として変わらなければならないこと」Susan Ruppert (Cizik School of Nursing at The University of Texas Health Science Center at Houston), 高田早苗 (日本看護学教育評価機構), 石田昌宏 (参議院議員), 手島恵 (国際看護師協会 [ICN]), 渡邊美和 (文部科学省) / メインシンポジウム「デジタルトランスフォーメーション (DX) と看護科学の未来」清住哲郎 (防衛医科大学校), 五十嵐歩 (東京大学), 織田千賀子 (藤田医科大学), 高橋聡明 (東京大学), 小池武嗣 (聖隷クリストファー大学) / シンポジウム「『生きる』を支える看護ケアのイノベーション」坂井志織 (淑徳大学), 谷口珠美 (山梨大学), 重見美代子 (美須賀病院), 三浦由佳 (藤田医科大学) / 国際シンポジウム / 記念講演 / 特別企画 / 教育シンポジウム / ほか

参加費▶ 会員 1 万 2000 円, 非会員 1 万 4000 円, 外国人留学生・海外に居住する外国人 2000 円

問い合わせ先▶ 運営事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-2-5 共同通信会館 4F 株式会社インターグ

ループ内

☎ 03-5549-6912

☎ 03-5549-3201

✉ jans42@intergroup.co.jp

<http://square.umin.ac.jp/jans42/index.html>

*掲載している情報は 9 月 29 日時点のもので。最新の情報は主催元をご確認ください。